

櫻島噴火一件

0894

鹿

鹿見島縣知事報告



一月十四日午前三時發  
六時三分着

軍務局

櫻島噴火ハ十三日午後八時廿分各噴火口益々猛烈  
ナル火焰ヲ噴出シ金山殆ンド火ノ山トナリ壯絶ヲ極メ  
同時ニ残余ノ各大字ハ全部火災ヲ起シ全島殆ン  
ト全滅ノ状態ニ在リ、鹿見島市ニ於テハ昨日晝間  
ニ回ノ強震アリシモ格別ノ被害ナク市民ハ全部避  
難セリ、軍艦利根邦モ入港ニ防火隊ヲ上陸セシ  
ム十四日午前一時頃ノ状況ニ依リハ噴火及震動ハ大ニ  
鎮靜シ市内平穩ナリ且大ニ雨降ル



0895

熊本縣知事報告

一月十三日午後十時十五分発  
十四日午前一時十五分着

高

櫻島爆發後鳴動降灰今尚止マズ降灰、為咫  
尺ヲ辨セス市内ハ烈震、為縣廳、本願寺、郵便局  
等甚シク傾斜シ市民ハ諸官衙、警察官、軍隊  
外全部耕地へ避難セリ市内ニ於テ死者九名負  
傷者十五名崩壞家屋多数見込櫻島、内有村  
横山ノ部、諸ハ全滅セシモノ、如シ（麻鬼島縣状況）

0896

熊本縣知事報告

一月十三日午後四時四分発  
〃十四日午前時三分着

今櫻島崩壊火柱天ニ冲ス火柱飛シテ麻見島市  
ニ落ツルノ虞アリトノ報アリ

一月十四日午前三時発  
〃午前五時二分着

麻見島ヨリ管下ニ避難難ニ来ル者十三日午後十二  
時迄ニ約七百名アリ郡長警察署長等ヲ督励シ  
救護ニ從事セシメツヽアリ

宮崎縣知事報告

一月十四日午前二時四分発  
〃午前三時十分着

0897

櫻島瀬戸ヨリ来リニ五名ノ避難者ノ話ニ大地震ア  
リニ後避難セントスルヤ直ニ附近ニ噴火ニ黒煙ニ包ツ  
マレツ、避難セシガ瀬戸ノ隣村ハ約三〇〇戸アルモ噴火ノ  
為避難路ヲ失ヒタルヲ以テ孰レ惨死ニタルナラン其時  
島ハ一團黒煙ニ包ツマレ島影ヲ認ノ難キヲ以テ他ニハ何  
ニモ見聞スル所ナレト、其他ニ見聞セシ者ノ話ニ依レハ避  
難ノ途ナク海中ニ投ニ溺死ニタルモノ等ヲモアリシト  
本縣ハ既ニ降灰止ニ降雨トナリ時々微震ヲ感スル  
ノ外異状ナレ

0898

録覽

電

第六報

廉奥島縣公事報告

一月十三日午後九時三十分

(薩摩山内局)



軍務局

のま

軍令部

今日櫻島大噴火及市附近大地西原益々強  
 烈トナリ灣内碇泊ノ大小汽船全部撤集  
 避難救護ニ従事島民ハ略各方面ニ全部遷  
 難セシモ夜ニ至リテハ廉奥島市地地震取モ強  
 烈トナリ電信電話不通家屋石壁等多數  
 倒壊龜裂ヲ生シ死者七名傷者若干出  
 頭ノ損傷ハ甚シク陸上状態トナリタルヲ以テ市民全部  
 無難ニ歩兵第四十五聯隊司令部出動  
 警戒救助セサル可ラサル慘状トナリ噴火地震

0899

尚  
歌  
マ  
ス  
極  
力  
警  
戒  
取  
組  
中

0900

**アジア歴史資料センター**

**Japan Center for Asian Historical Records**

<http://www.jacar.go.jp/>

第四報

宮崎縣知事報告

一月十三日午後十時迄

本朝六時頃より震動微弱トナリ間隙次第ニ長ク人心安堵ノ状ナリ降灰ハ今ニ甚シク一面灰ヲ以テ蔽ヒ陰モ積雪ノ状ヲ呈ス本朝ニ至リ東臼杵郡地方迄降灰ス

0901



大正官房

軍務部  
のまじり  
のり

大正三年一月十三日發布

海軍



第一艦隊長友

次友

昨日場島爆撃の軍中

於隊長の功多し電

ヲ授与せられたる事

電報

尾由少佐の功多し電

張備 丁中電

0902

第二艦隊長友

第五艦隊司令部

又ハナリ為念


0903

海軍  
大正三年

大正三年

軍務局長の署名

局長  


次友  


大正三年一月十三日發布濟



海軍

第一艦隊長友

櫻島噴火のつぎに即時第二艦隊員及艦

世傳り利根第一艦隊第五艦隊同方面

二句の助カシ充分なるべき見込あり為念  
差当り

化地録

0903

廣島

大臣官

軍務局長

電

局長

海軍

海軍

第二艦隊長友

次官

軍令部

昨十二日原火島湾内桜島ニ大噴火起リ

被害全島ニ亘リ其後(タル模様ニテ)噴火猶息マス下ノ関廉兜

島以西車道間電信不通トナリタリ右ニ訛キ

船隻少ク皆艦隊ニ可成事ニ同地方ニ回航

0904

海軍

避難民救助

三連隊民救難通信ノ維持等ニウキ應ル

助力<sup>セラレ</sup>ニ<sup>致シ</sup>様<sup>タリ</sup>依命

0905

軍務

至急電報

佐世保鎮守府副官

若副官

貴府艦艇又ニ部隊ヨリ慶島ノ情報ヲ得ルニトキ  
直ニ当省ノ電報方取付シ度御依頼ス

大正三年十月十三日午後八時四十分發行ス



海軍

0906

供覽



軍務局長

至急電

局員



藤田

海軍

大正三年一月十四日發布



大正三年一月十四日

長 佐藤 多 謀 長

ニ付テノ一般状況

横島 燦 為 狀 況

廣 災 島 又 臨 陣 橋 諸

詳細事情判明セザル故

詳 報 一 概 一 切 切 之 第 一 居 ル 者 派 志

ハテテ 其實見也此所曰テ 詳細報告セザル

軍 務 長 官 佐 藤 多 謀 長 様 御 計 画

リタシ、第 一 報 告 係 長 へ 之 件 付 付 之 又 也

0907



第 報 家 電 未 着

熊本縣知事 報 告

一月十三日午後三時十分發

電



軍務局

廉貝島市ハ降 灰スルモ死傷者モキ模  
様市民ハ避難ニシ其數ヲ見ス市内ハ  
警官軍隊消防隊ニテ警戒ニ居ル由櫻  
島死傷者約二百名アリト云フ廉貝島市  
ヲ避難民續々縣下ニ来ルモ救護  
手為中又阿蘇山ハ前電ノ如ク鳴動  
シ歎ソモ本日午後零時三十分ヨリ  
再ヒ鳴動降灰アリ警戒中



0908

鹿見島縣知事報告

一月十三日午後四時鹿見島島發

櫻島大噴火ハ東西數ヶ所ニ亘リ尚猛烈爆發頻々島民ハ昨日大部分救護シタルモ本日尚汽船ヲ以テ救護中、人家山野大火災ヲ起シ大字赤水、横山、小池、赤生原、有村、脇、瀬戸、黒神ハ全滅、鹿見島市ハ状況ハ既報後異状ナシ唯今第八驅逐隊救護、為入港ス、第四十五聯隊ハ尚警戒救護中

熊本縣知事報告

一月十三日午後三時熊本發

鹿見島附近ハ今ニ震動止マシ、縣廳其他建物ハ完



全スルモノ無シト云フ  
市民ハ揖宿及隈之城地方ニ  
避難セシ由

0910

宮崎縣知事報告

一月十三日午後二時四十分至

廉見島、状況全ク不明ナルモ本朝避難者ニ  
 ノ陳述及新園縣外等ヲ察全シタル快況左ニ  
 櫻島噴火以前大地震ノ為島民ノ全部ハ殆  
 ト避難シタルモノ、如ク昨日午前十時噴火後廉  
 見島ニ於テハ震動激シキト且海潮暴来、  
 虞アリトテ全市動乱ノ状態ニ陥リ鐵道院  
 ニ於テハ甚々蓋車道利用ニ避難民ノ時客ニ努  
 ヲ多クハ本島下ニ避難セシムルノ請ヲアリ  
 毛危陰界、通過長キト鐵道沿線ノ岩石崩

0911

壊スル為ニ方針ヲ變ニテ川内地方ニ避難  
 セルモノ、如ク今夕ニ至ラサレバ汽車ヲモ南通ノ  
 見込ナシ噴火白人三四個ノ所ニテ噴火セシ塔  
 岩等ハ多クハ海中ニ落トスルカ如ク昨初一時  
 地震動甚カカリニ時多ク櫻島ニ引込ルモ  
 ノアリテ殆ト全滅ニ至傷約數十名ニテ火災  
 ハ五ノ處ニ起リトノ風評アリ今地震動甚カク  
 サルモ噴煙盛ナルカ如ク、為テ十四聯隊ノ一部ハ  
 去ル十一日麻尾島ニ出張ニ赴キ善ニ出會ヒ四十  
 五聯隊警備隊消防組等共同ニ救助ヲ  
 取獲ニ後事ニ今ニ市中警戒中ニテ市中  
 住民總テ避難シ人約十ニトノ事ナリ

0912

本島ノ状況左ニ  
降灰次第ニ濃厚トナリ北諸島南那珂  
地方ハ積灰一寸余ニ及ヒ暗黒慘憺然ナリ  
辨セズ昨ノ夜より引續キ島内ハ點燈ス者皆  
崎地方モ十一時頃より降灰ニ及ヒ天地暗  
慘電燈ヲ點ス本島トナリ島民其ノ他五  
十名餘島下ニ避難セリ以テ午後申ナリ  
降灰ハ今分拵試驗中ナルヲ以テ及報ス

0913

熊本名知事報告

丁巳年正月及豊年正月の事

九時十分に着

昨日午前十一時熊本島名知事大集動ト  
共ニ熊本島名知事大集動ト  
通又本島阿蘇山ノ昨日午前十一時  
動アリ時々震動セリカ本島午前十一時  
止ル今地警署官ヲ派遣シテ山ノ踏  
査セシメ噴火ノニキモ專ラ警戒中

熊本島名知事報告

0914

了りし事なきに  
九村の事なき

櫻島ノ大噴火ハ益々猛烈ヲ加ヘ顯ル危険  
ノ状態ニ在リテ津島市内南壇家屋ハ多  
カラサルモ道路ニ亀裂ヲ生ズル變アリ又石垣  
倒壊ノ爲死者九名負傷者十四名市民ハ  
續々避難中ナリ今後ノ成行ハ不明ナリ

0915

宮崎別支率報告

一月十三日午後八時三十分迄

十時着



噴火占ハ横山村ト市ニ面シタル方ニ、瀨戸方  
 面一ナリ各方面より救助ニ努メテ模様ナリト昨  
 日山道ニ至傷者百四名其ノ後ノ至傷者其  
 傷避難者ハ重寛加治本國各地方ニモ一千余  
 名アリ未タ島ニ疎及ノ者アル見込ナリテ救助  
 船ヲ来スモ噴火甚ク奇附ク能ハス汽車ハ  
 午後三時より不通の自午ニハ閉通ス後六  
 時ノ大震動ニテ電信電話ノ切斷個所多

0916

今之南邊ノ具込トモ  
更ニ不<sub>レ</sub>知<sub>レ</sub>以<sub>レ</sub>加<sub>レ</sub>治<sub>レ</sub>木<sub>ノ</sub>敬<sub>レ</sub>業<sub>ノ</sub>署<sub>ノ</sub>長<sub>ノ</sub>通<sub>レ</sub>釋<sub>ノ</sub>  
ト<sub>レ</sub>本<sub>ノ</sub>名<sub>ノ</sub>一<sub>ノ</sub>状<sub>ノ</sub>之<sub>ノ</sub>處<sub>ノ</sub>ト<sub>レ</sub>降<sub>レ</sub>石<sub>ノ</sub>依<sub>レ</sub>石<sub>ノ</sub>蓋<sub>レ</sub>  
務<sub>レ</sub>一<sub>ノ</sub>ツ<sub>レ</sub>ア<sub>レ</sub>リ

0917



軍務局

大正三年一月十四日

海軍省 副官

構内各局部御中

横須賀鎮守府電話

十四日午前六時三十五分  
海軍省接受

磐手ヨリ佐世保鎮守府司令長官宛無線電信  
傍受

第三情報

櫻島住民ハ最早ヤ始ント全部收容ニ居レリ鹿見島  
住民ノ始ント全部ハ市外ニ避難セリ市内ニハ敬言戒ト  
シテ第。師団ヨリ配員シアリシモ明日ヨリ演習ノ為  
メ出発ス救護隊  
ニテハ目下ノ情况ハ異変ナキ

3. 1. 14

0918

限り格別ノ必要ヲ認メサルモ当分様子ヲ見テ設ク  
ル号当地ニテハ糧食全ク求ムルヲ得ズ当地地震学  
者ノ説ヨシハ爆祭ハ今ノ程度ニテ持續スルニ止マレバ  
シト云フ今後殊ニ変化ナケレバ差当リ強テ後祭艦艇  
ノ用意ヲ認メス十三日午後六時

佐世保水雷隊司令官

第二情報ハ混信ノ為メ受信出来サリシトノ電話アリ

同

十四日午前六時四十分  
海軍省接受

佐世保ヨリ利根宛無線電信

水雷隊参謀鶴雲雀貴地ニ向ケ祭櫻島出身下士卒  
約三十名并ニ利根副長及兵員ノ便乗者アリ

0919

佐世保鎮守府副官

同

十四日午前六時四十分  
海軍省接受

佐世保ヨリ利根宛無線電信

水雷隊司令官鶴雲雀風波ノ為メ佐世保ノ歸港セリ  
或ハ派遣取止メニナルヤモ知ラス為念

佐世保鎮守府參謀長

同

十三日午後十時四十分  
海軍省接受

軍艦般手ヨリ

佐世保無線電信所宛

並

海軍大臣、佐世保鎮守府司令長官ノ

利根ヲ引ヒ三時鹿見島着

佐世保鎮守府司令長官へ情報

灰ヲ蒙ルコト甚シキモ碇泊ハ差支ナシ今ヨリ直ニ

陸上官憲ト打合セラナス

震天鹿見島着、利根ハ交流機ニテ送信出来ズ

(終)

0921

供覽

電



内務大臣

一月十三日午後九時四十分發

高野館在事

十時五十分着

昨十二日午後ヨリ我下幡多郡中村所地方西南  
才ニ於テ遠雷ノ如キ音響アリ微震強震斷續  
今尚歇マス且雪天ニシテ多少ノ降一層アリ人心不  
安當市モ今曉微震アリ極マテ少量ノ降度  
ヲ認ム由分櫻島爆發ノ餘波ナラント思料ス

御参考迄

内務大臣

岩崎彌太郎

一月十四日後零時五十分着  
〇時四十五分着

0922

避難者其、他、詔ニ依レハ、庫見島市ハ、障壁等  
破壊ノ外、著シキ被害ナシ又各地ニ於ケル負傷者  
ハ、噴火ノ為ヨリモ、狼狽ノ結果ニ依ルモ、多シト云  
ハ、昨、初ト異ナルナリ、昨、初、降、雨、アリシモ、少量、本日  
ハ、晴、天、ナルモ、低、氣、壓、日、東、海、面、過、ハ、餘、波、ヲ、受、ケ  
西、風、強、ク、為、ニ、石、塊、ノ、飛、散、甚、シ、ク、四、方、濛、朧、タリ

0923

内務大臣

熊本縣知事

一月十四日午後〇時五十分  
二時十分迄

橋島鳴動降灰本日前三時迄ヨリ鎮靜  
シ汽車電信電話全通セリ、阿蘇山ハ異状

十二

0924

軍務局

大正三年一月十四日

午後一時十分佐世保局發  
午後一時海軍省着電

海軍省副官宛

佐世保鎮守府副官

電報譯

田原

原敬

藤田

十三日午後五時利根發電

櫻島及鹿兒島、住民ハ避難又ハ收容セラレアリ

當隊ハ地方官憲ト協議ノ上救護班、防火隊衛兵ヲ

編制シ應急ノ準備整フ、當地ニテハ糧食ハ得ルヲ

得ズ、今後特ニ變化ナケレバ強イテ後發艦艇ノ用

務ヲ認メズ

午後六時利根發無電

櫻島住民ハ最早殆ント全部收容セラレ終レリ鹿兒島

市民ノ殆ント全部ハ市外ニ避難セリ市内ニハ警戒トシ

8. 1. 14

0925



テ第六師団ヨリ配員シアルモ明日ヨリ演習ノ為メ出  
發ス、縣廳ニテハ目下ノ状況ニ異変ナキ限リ格別救  
護隊ノ必要ヲ認メザルモ當分様子ヲ見テ設クル  
筈、當地地震學者ノ說ニヨシバ爆祭ハ今ノ程度ニテ  
持續スルコトニ止マルベシト云フ

午後十二時發無電

櫻島被害民ハ殘留スル者ナカルバトノ模様ナルモ念  
ノ為メ搜索ヲ試ミル程度ニ過ギズ、鹿児島市救  
護ニ對シテ今後火災アルカ又ハ大ナル異変ナキ限リ差  
當リ用ナキコトトナリ居レリ利根ハ當分谷山沖ニ  
淀泊、陸上トノ聯絡ヲトルコトニ準備中

(終)

0926

供覽

軍務局

軍令部

大正三年一月十二日午後十時四分 行動簿局 局發

大正三年一月十二日午後九時五十分 局着

電

信者海軍大臣

發信者

第三艦隊司令長官

電報譯

遭難船ハ救助スルノ必要ヲ認メザルニ依リ久米島寄航  
ヲ取リ止メ楊島爆発ノ被害救助ノ爲メ直ニ艦隊ヲ  
率ヒ鹿児島島ニ向テ出港ス

第一班

海軍

0927





0929



**アジア歴史資料センター**

**Japan Center for Asian Historical Records**

<http://www.jacar.go.jp/>



軍務局

軍令部

大正三年一月十一日午後七時五分

局發  
局着

姓

受信者

大佐

發信者

佐藤長官

電報譯

今日當地新聞報外ニ櫻島火爆案  
著死傷多數志ヲ勇知シ不致取利根  
駆逐隊十五艇隊ニ陣送看護ヲ出来得ん丈  
多數便乗セシヨ治癒品多量培菊ニテ取書  
乃ハストトセリ

第一班

海軍

(花崎納)

0930

# 電 報 着 信 紙

局 着		局 發				名 氏 所 居 人 信 受	
取 扱 者	受 信 班	付 午 後	受 午 後	第 一 號	廿 七 日	報	<div style="font-size: 2em; font-family: cursive;">                 如 上 に 記 す             </div>
		時 分	時 分	月 日	局	報	
定 指							
事 記							
		番 着 信 數 紙				名 氏 所 居 人 信 受	
		第 一 八 號				廿 七 日	
印 附 日 信 着							

0931

# 電 報 着 信 紙

局 着		局 發				名 氏 所 居 人 信 受	
取 扱 者	受 信	付 受 後 前	付 受 後 前	第	報	(三)	
		時 分	時 分	月 日	局		
定 指						番 着 信 號	
ケヨ シタ スヲ ルト コウ トサ トイ セ リ ハ						第	名 氏 所 居 人 信 受
						八 九 號	
事 記						印 附 日 信 着	

0932



紙用記筆電府守鎮賀須横

大正元二年一月十四日午後十時

分受

海軍省

横須賀鎮守府電筆用紙

者別左  
海軍省に於て其の事務多し故に呼ばるるが天候  
之合カ一向の地ニセリ作業ノ難ク呼  
海軍省に於て其の事務多し故に呼ばるるが天候  
之合カ一向の地ニセリ作業ノ難ク呼




3

0933

8. 1. 13

電報 報 着 信 經理 紙 軍部

局 着		發		名氏所居人信受		
取扱者	受信	付午後	付午後	第	1	
後	前	後	前	局員		
各班	時分	時分	時分	日 號	報	
<p>櫻島噴火事件ノ為東京 鹿兒島間非常ニ輻輳ノ處 今夕下関以ニ線地氣トリ 向通信ノ道無之候存出承知 下度候 電信係 廣房出申</p>				定指		
				番着		數紙
				事記	第	
					九番	
					號	
				印附日信着	3.一月十日 軍務局接見	

十七年四月十日 軍務局接見

0934

修

鹿



鹿見島縣知事報告

一月十四日午前十一時四十分発  
午後八時五分着

十四日一時頃櫻島大噴火ハ稍鎮靜

傾向アリ甬來同様ノ状態持續ス

雨ハ晴ル北風強シ

0935

宮崎縣知事報告

一月十四日午後三時十分迄

噴火ニヨル降灰ハ場所ニヨリ成分異ルノ疑  
アリ當廳構内ニテ採收セシモノ、試験下ノ如ク  
色ハ灰色火温ニヨリ混セキノ硫黄臭ヲ有セ  
微ニ滋味ヲ有ス、反應ハ弱酸性煮沸ニヨリ變  
化ナシ、質量(水分其ノ他)一瓦ニ對シ〇、〇〇三  
水ニ溶解量少量其ノ含有成分下ノ如ク、  
硫酸多量、コロイド少量、石灰少量、硫酸少  
量、マグネシウム少量、鉄及バンド少量、加里  
少量、ナトリウム微量、磷酸混セキ、硝酸微量有

0936

機質微湿、セキ酸塩類砒素、炭酸、亜硫酸、  
硝酸等ヲ炭素セキ

0937



櫻島

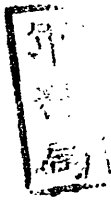


鹿兒島縣知事報告

一月十四日午後四時五分登

十廿日午前七時廿七分着

櫻島、大噴火ハ稍鎮靜ニ赴キ、甬末同様ノ  
状態ヲ維持セシモ十四日午後二時頃後末ノ噴  
火口、左方ニ新噴火口現レ盛ニ噴火シツ、アリ  
而シテ噴火只漸次海岸ニ近ク傾向アリ



局長



0938

鹿兒島縣知事報告

一月十四日午後十時廿分発  
十五日午前六時廿五分着

其後噴火ハ稍鎮靜ノ傾アリ震動ハ殆ント減  
退セリ十四日早朝出シタル搜索船ハ東櫻島  
村方面及黒神ニ於テ三十二名ヲ救助セリ。避難  
民ハ今尚多数歸来セズ市中ハ極カ警戒ニ努  
メ異状ナシ本日午後第二艦隊救護ノ為入港  
セリ

0939

厚

大正三年一月十四日 午後五時四十五分 佐世保局發  
午後八時 海軍省着電



海軍省副官宛

佐世保鎮守府副官

電報譯



后四時受利根ヨリ無線電信

櫻島住民ハ爆発ノ前日鳴動甚シキ為メ附近ノ對岸

ニ避難セリ其ノ内鹿兒島ニ收容セシ人数ハ百人以上

アレドモ傷者ハナシト云フ大隅ノ海岸ニ避難セシ人数

ハ不明ナリ櫻島ノ内未ダ搜索出未サル所ハ白濱、黒

神、モエシマ、(新島)ヲモタカ、ノミニテ是等ハ消息不明

十四日朝震天ヲ此ノ方面沿岸搜索ノ為メ派遣セリ

鹿兒島ニ風向ニヨリ灰ノ降ルコトアリ家屋約一割ハ潰

レ又ハ非常ニ傾キ居リシ外家屋全部ハ微震動絶ハ

8. 1. 15

0940



サレ為メ内ニ入ルヲ得ス市中所々ニ番人ヲ配シアリ十四日  
午後三六地震稍々落着キ間々屋内ニ入ルモノアリト云フ  
十二日午後六時ノ強震ニヨリ死者九名傷者十四名ヲ出  
セリ其後無事ナリ縣廳内ニ天幕ヲ張り知事以下  
役人出張シ居シリ電信モ此処ニテ取扱フ

(終)

同

日午後十時三十分佐世保局發

午後九時受本職(千坂水雷隊司令官)水雷艇ニテ午後  
櫻島ノ視察ヲ終リ只今般艦ノ状況左ノ如シ  
瀬戸ヨリ伊瀬崎以西ヲ視察シ六隻ノ避難船ヲ鹿見島及富  
松等ニ着陸セシメタリ赤水、横山、小池、赤生原、武村、半  
ハ焼失村影ナシ、セガキリ、セトバラ、クセキ、煙雲ニ覆ハレ見  
ルヲ得ス其ノ他ノ沿岸各村ハ人家存在所々ニ多数ノ馬ヲ認  
避難船員ノ言ニ依ル島内ニ存在セル人皆無ナリト云フニ致ス(3)

0941

軍務局

大正三年一月十四日午後

九時五十分佐世保局發  
十一時五十分海軍省着電

佐世保鎮守府副官

海軍省副官宛

電報譯

午後七時受利根ヨリ魚線電信

本日西風強キ為ノ谷山鉤地ヨリ稍々櫻島ノ

状態ヲ見ルヲ得タリ 爆炭ノ重ナルモノハ東部

ノ山附近及西部横山村ト山頂トノ間ニ位スル

モノハ二箇所ニシテ其ノ噴出ハ消長アリ甚シ

キトキハ魚數ノ巨山石空ニ中高ク飛ハシ今朝ヨリ

見エ初メタニ 瀬戸海岸ノ噴出及赤水ハ

九呎山ノ所ニ噴出スルモノ之ニ次ク其ノ他白

8. 1. 15

0942

煙ヲ出ス小噴火ハ右ノ附近ニ數多アリ是等ハ  
多カ其ノ位置ヲ變スルモノアルカ如シ谷山ノ方  
面ヨリ望ムニ樺島ノ西方全島約四分一ノ  
面積ハツリユウカヘンレヲ以テ厚ク覆ハレ他ノ物  
ヲ見ス右方ニ面スル約全樣ノ面積ハ僅ニ火山  
灰ヲ被ムルノシニテ樹木田畑ニ異状ヲ認メス中  
腹以上ハ全ク不明北及東ノ方面ハ小官水雷  
艇ニテ巡視ノ點見トシテ雪浪天報告ヲ合セ  
更ニ報告ス。

午前十時受利根ヨリ無線電信  
本日正午ヨリ廣島市家屋ノ震動全ク熄  
ミタリ市民ハ多數徘徊スルモ未ダ住居ニ  
ココエラス。

0943